

アバスチン（ベバシズマブ）治療に関する説明書

説明日：平成 年 月 日

説明者：治療責任医師 阿部吉伸

◆施術について

1. 薬効

「血管新生阻害剤」とも呼ばれ、新しい血管ができる過程（血管新生）を阻害してがんの成長を妨げます。

抗がん剤の多くは、がんだけではなく正常な組織にも作用をおよぼすことから、さまざまな副作用が起こりますが、その中で「分子標的治療薬」は攻撃の対象を特定しているため、正常な組織には作用しにくいことが知られています。ベバシズマブ（アバスチン）は、新しい血管の形成を促す「VEGF」に対する「分子標的治療薬」です。ただし、からだに備わった正常な血管の仕組みに影響を及ぼすこともありますので、抗がん剤と同様に副作用には十分注意する必要があります。

2. 副作用 <確認した項目は、□にチェックをしてください>

【比較的多くみられる副作用】

- ☐ 高血圧
- ☐ 尿にたん白が出る（たん白尿）
- ☐ 粘膜から出血（鼻出血 / 歯肉出血など）
- ☐ 痔に血液が混じる（血痔）
- ☐ 白血球数・好中球数の減少（抵抗力の低下）

【頻度は高くないが、重大な副作用】

- ☐ 口から血液を吐く（咯血 / 肺出血）
- ☐ 脳出血
- ☐ 動脈や静脈の中に血液のかたまりができる（血栓塞栓症）
- ☐ 胃や腸に穴があく（消化管穿孔）
- ☐ 傷口が治りにくくなる（創傷治癒遅延）
- ☐ 薬剤へのアレルギー反応
発熱やふるえ、悪寒、かゆみ、発疹、高血圧、低血圧、血圧低下、心肺停止などを生じます。アナフィラキシー反応で急速に死に至ることがあります。

☐ 副作用の重篤化により死亡することもあります。

☐ 副作用の検査や治療は当院では行えません。また、それらにかかる費用は自己負担となり、保険診療の対象外（自由診療での請求）とされることがあります。

3. 適応

- ☐ 担当医が適応と判断したがん（悪性新生物）

4. 投与手順（投与スケジュール）

5. 投与中の注意事項

6. 費用について

私(患者名)は、アバスチン（ベバシズマブ）治療につき、本紙に記載された全ての事項につきよく説明を受け、不明点は質問をして回答を得ました。

年 月 日

患者署名：

保証人署名：

（続柄： ）